

2012年度

シニアコース講座実施について

シニアコース講座の科目数・単位・時間等の構成は以下を確認してください。

共通科目（理論A・理論B）＋
（17科目・30単位・90時間）

- メンタル専攻科目（11科目・29単位・87時間）
- キャリア専攻科目（15科目・29単位・87時間）

I. 受講資格について

受講対象者は、産業カウンセラーの資格を持つ資格登録会員の方です。

メンタル専攻科目：産業カウンセラー資格を有していること。

キャリア専攻科目：産業カウンセラー資格を有し、かつ、次の3つのうち、いずれか1つを満たしていること。

- ①当協会のキャリア・コンサルタント資格の有資格者
- ②他団体（厚生労働省が試験機関として認定した団体）のキャリア・コンサルタントにあたる資格の取得者
- ③キャリア・コンサルタントの実務に1年以上関わっている者

II. シニアコース講座の受講について

（メンタル・キャリア共通）

- ①シニア産業カウンセラー試験を受験するにあたり、シニアコース講座（以下講座と略す）修了で受験資格を得る方は全科目（理論、事例検討及び逐語検討科目）の履修が必要です（ただし、2010・2011年度のシニア産業カウンセラー試験の一部合格者を除きます）。
- ②申し込みは1科目ごととなります。
- ③設定された必要科目の修了条件を満たした場合に、その科目の修了証をお渡しいたします。
- ④修了条件：設定された時間数の6分の5以上の出席（遅刻、早退、中座は3時間科目については30分、6時間科目については1時間、15時間科目については2時間30分を限度とし、それを超えた場合は履修に必要な出席とは見なしません）及び一部の科目では課題等の提出により履修と認めます（会員研修のシニアコース講座振

替対象講座にも適用します）。

- ⑤向上訓練の修了科目をシニアコース講座の修了科目とすることができます。それぞれの科目の対応は、科目編成表で確認できます。向上訓練についてご不明な点は、試験部までお問い合わせください。

III. 講座の案内について

1. 講座の開催案内は、実施日の約3ヶ月前に、会報「産業カウンセリング」に発表します。各支部のシニアコース講座担当係に、後述の「IV. 申し込み・受講料について」に従い、受講の手続きをしてください。
2. すでに受講済みの科目の再受講を希望する場合は、会場に余裕のある場合に限り聴講が認められます。聴講の可否は支部担当にお問い合わせください。なお、聴講者、シニア資格者に修了証は発行いたしません。
3. 理論科目Aは、協会がシニアコース講座振替対象講座として認めた各支部の会員研修の講座で履修することも可能です。振替対象講座は会報3月号に掲載します。講座の受講料は当該する支部（会員研修部）にお問い合わせください。
4. 理論科目Bのうち、K0700「職業倫理」・K1000「雇用環境と人事労務管理」・K1100「産業カウンセリングに関わる関係法令」は論文形式により単位取得が可能です。会報9月号にて募集を行います。
5. 今年度は、インターネット・ピクチャー方式に変わり、DVD方式で9科目開催します。詳細は29ページをご参照ください。

IV. 申し込み・受講料について

1. 受講料は、3時間の科目については1科目7,000円（税込）、6時間の科目については1科

目13,000円(税込)です。逐語検討は2日間の科目のため26,000円(税込)となります。聴講者の受講料は支部にお問い合わせください。

- 論文提出による履修科目は、1科目6,000円です。
- 宿泊及び食事が必要の場合、各自手配となります。
- 申し込みは、支部で申込書と受講料の入金が確認された時点で受理となります。申込書に振込明細の控え(コピーで可)を添付して申し込みください。なお、事前に各支部へ空き状況を確認いただくことをお勧めいたします。
- 定員を超えて申し込みがあった場合は、原則として先着順で受付します。定員に達したため受講受理できない場合には全額返金いたします。
- キャンセルについて
 - ①受講申し込み締め切り前のキャンセルについては、振り込み手数料等諸経費を差し引き返金します。
 - ②受講申し込み締め切り日翌日以降のキャンセルについては、当方の都合による場合以外は返金できませんのでご了承ください。

V. シニアコース講座の開催について

講座を開催するにあたり、実施可能人員は各支部によってそれぞれ異なります。受講申し込み者が募集の定員に満たないときには、残念ながら開催を中止する場合がありますのでご了承ください。講座中止の場合、受講料は全額返金します。

VI. 受験資格・受験年度について

- シニア産業カウンセラー試験の受験資格は、以下の2つがあり、いずれか1つを満たしている方は受験が可能です。
 - ①産業カウンセラーの資格を有し、大学院研究科において心理学又は心理学隣接諸科学、人間科学、人間関係学のいずれかの名称を冠する専攻の修了者であって、協会が定める必要単位を取得している者。(単位等の詳細はホームページ参照)
 - ②産業カウンセラー試験合格後3年が経過している者であって、協会もしくは協会が他に委託して行う産業カウンセリングの学識及び技能の向上を図るための講座を修了しているもの。
- このシニアコース講座は上記1の②にあたります。
- シニアコース講座とは別に各自で積極的かつ継続的な学習によってスキル向上を図る必要が

あります。シニアコース講座はこのような学習の成果を段階的にチェックする場として活用することが必要です。

シニアコース講座修了で受験する場合の受験年度

産業CO合格年度	シニア産業CO受験年度
2008年度以前	⇒ 2012年度
2009年度	⇒ 2013年度
2010年度	⇒ 2014年度
2011年度	⇒ 2015年度
2012年度	⇒ 2016年度

留意事項(受講の順序等)

1. メンタル専攻留意事項

- 産業カウンセラー資格を有し、かつ当協会のキャリア・コンサルタント資格を有している方は、M0300「キャリアカウンセリング」の科目免除の適用になります。
- 逐語検討1,2,3は各2日間で1科目です。逐語記録作成は事前(在宅等)作成となります。
- 逐語検討は、段階的に履修することにより面接スキルの向上を図ることを目的に設定しております。逐語検討1から2、3と順次計画的に時間をかけて履修できるようにしてください。
- M1730「逐語検討3」を受講する前に、事例検討科目M1210「面接記録のとり方 事例の書き方、見立て」とM1220「カウンセリングプロセス」を受講してください。
- 逐語検討2の申し込み時には逐語1の修了証を添付してください。また、逐語3の申し込み時には逐語2、M1210「面接記録のとり方 事例の書き方、見立て」、M1220「カウンセリングプロセス」の修了証を申込書に添付してください。

2. キャリア専攻留意事項

- キャリア専攻演習科目には、基本編(C3210~C3240)と応用編(C3250~C3290)があります。応用編は、基本編を受講済みあるいは同等の知識がある前提で行いますので、基本編からの受講をお勧めいたします。
- 応用編からの受講も可能ですが、1の内容を了承の上受講してください。
- メンタル専攻の逐語記録検討科目M1710「逐語検討1」を修了していれば、事例検討科目C3340「特別テーマ」は修了したものとみなします。